

広報



村章

なまきじん

1997 10 No. 263

毎月1日発行

●今帰仁村の人口

男4,855人(+4) 女4,795人(+4) 計9,650人(+8)

世帯数 3,255戸(+1)

平成9年8月末現在

今帰仁御神



幻の白カラス

嵐山土地改良区内に現る

嵐山と言えば、今帰仁産パインで有名な場所である。そこに無数のカラスに混じって一羽の純白のカラスが見つかり地域の話題となっている。

同土地改良区内に出没するカラスは、農家が丹精こめて作りあげたパインを食い荒す天敵。

しかし白カラスの出現により「これは縁起ものではないか」と、しばしカラスへの恨みもいえ、これからの豊作に期待を寄せている。

今帰仁村民憲章

- 一、みんなで守ろう 恵まれた自然と文化遺産を
- 一、みんなでつくろう うるおいとやすらぎのある村を
- 一、みんなで育てよう のびゆく力と豊かな心
- 一、みんなでめざそう 健康で希望に満ちた村を
- 一、みんなで築こう 平和で明るい活力のある村を



▲古宇利ウム、マーサイビンドー

離島フェア'97

古宇利の紅イモ大好評

「島々の島自慢」をテーマに「離島フェア'97」が、九月十九日から三日間にわたって沖繩コンベンションセンターで開かれた。

離島フェアは離島の産業振興などを目的に例年開催されており、今年も二十四市町村からそれぞれの島の魅力あふれる特産品が一堂に集められた。本村からは古宇利島の紅イモ等を出店、訪れた多くの人たちが品々を手に取り買い求めていた。

また市町村コーナーでは、各島々の文化や観光などが紹介され、訪れた人たちは熱心に見入っていた。

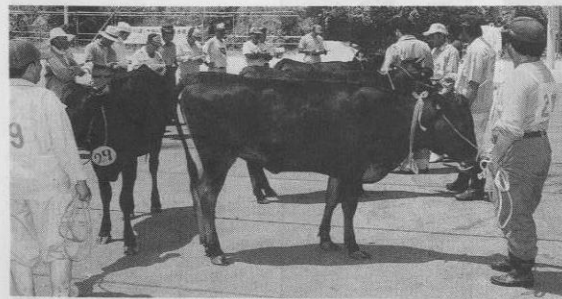
村役場とやんばる農協の共催による第二十六回村畜産共進会が九月三日、午前十時より村家畜セリ市場で畜産農家をはじめ、関係者多数が参加して盛大に開催された。

共進会は畜産農家の経営安定と畜産振興の発展に資することを目的に、例年行われているもので、今年も畜産農家自慢の肉用牛(黒毛和種)六十頭が出品され、大勢の関係者が見守る中、北部家畜保健衛生所職員ら四人の審査委員によって、厳正な審査が行われた。

その結果、恒例の県農林水産部長賞(成雌二類)に金城吉信さん、畜産公社理事長賞

自慢の肉用牛
優等めざし60頭出品
第26回村畜産共進会

- 肉用牛(去勢)
- 優 等 高田 勝(運天)
 - 優 等 諸喜田達弥(勢理客)
 - 優 等 仲里徳助(仲宗根)
 - 優 等 鳥袋直三(仲尾次)
 - 優 等 伊集哲男(平敷)
- 肉用牛(雌)
- 優 等 諸喜田達弥(勢理客)
 - 優 等 仲里徳助(仲宗根)
 - 優 等 鳥袋直三(仲尾次)
 - 優 等 伊集哲男(平敷)



▲手塩に掛けた肉用牛ズラリ

仲宗根



▲5人の息が合った松竹梅



▲古くから湧川に伝わる七福神

上運天



▲勇壮な獅子舞

豊年



▲子どもたちの華麗なあん小たあー

仲尾次



▲子ども会手作りの獅子舞とエイサー



村内五カ字で豊年祭

地域の伝統芸能を継承

五穀豊穡を願い、旧暦八月十二日から十五日にかけて、村内五カ字(仲尾次、崎山、仲宗根、湧川、上運天)で豊年祭(ムラウドウイ)が盛大に行われた。

当日は折しも台風十九号の影響で、天気心配されたがほとんどの字で昼の道ジュネーに始まり、夜の舞台では獅子舞や長者の大王で幕を開け、古くから伝わる伝統芸能(上い口

説や高平万才など)のウドウイや棒術、寸劇、児童生徒による太鼓、空手演武など多彩なプログラムで観衆を魅了、豊年祭に向けて短い期間のなか、みっちり練習を重ねてきた踊り手たちの懸命な演舞に会場から大きな拍手が送られた。

またその日は中南部をはじめ、村内外からもたくさんのお客様が訪れ、会場は夜遅くまでにぎわった。

学対シリーズ(38)



おっぱだけまでとどけ ぼくの本読み

今帰仁小三年 平良 ひろき

「朝読み・夕読み」作文・標語・ポスターコンクール優秀賞

六時三十五分、ぼくの朝読みの時間です。おじいちゃん、おばあちゃん、ともゆき兄さんが、ぼくの朝読みを聞いてくれます。今日は国語の本の「ふるそうじ」を読むことにします。

ぼくは、四月のはじめごろからお兄さんとこうたいで、ふるそうじをしています。いつものように、大きな声で読みました。ときどきおじいちゃんの顔を見ると、目をほそめてここにこしながら聞いています。おばあちゃん、おばあちゃん、おはようございます。おはようございます。おはようございます。

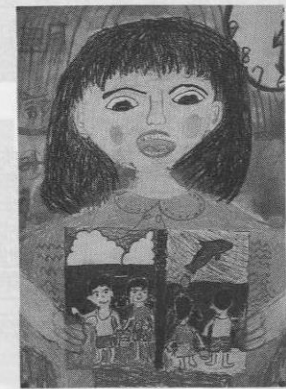
いとおこった声で言います。ぼくはくやしければ、声を小さくしながら妹をにらみつけます。でも妹は、ここにこしながら読みつづけています。

つも大きな声で読むので、先生や友だちからほめられます。でも本読みチャンピオンのあき君にはまけません。あき君は、会話を所を読むとき、登場人物によって、声や表じょうをかえたりしてす

朝読みは

家ぞくみんなの目ざまし

天底小三年 ぐし じつき



今帰仁小3年 中村 百代



兼次小4年 山内 里菜

朝読み夕読み

お口の体そうー、二、三

天底小四年 照屋 志歩

「あなたには夢がありますか?」そう聞かれると、とっさに思いつくことは何であろうか。ふと考えてしまいます。なぜなら私には明らかに望んでいる「夢」がないからです。しかし、クラスの友達に聞いてみると、ぞくぞくと答えが返ってくるのです。

もんもんとした状態が続いています。早く進路を決めなければ……とあせるのですが、なかなか決められません。なぜみんなはこんな早くからはつきりとした自分の夢をもっているのか、不思議に思うのです。

ていけばきつとすばらしい夢が見つけれられるよ」と付け加えられました。先生は中学時代、好きな野球をひたすらやったそうなんです。将来のことを具体的に考え始めたのは高校生になってからだそうで、好きなスポーツを生かしている「体育の先生」への夢がはつきりとしたそうです。勉強はあまりやっていないが、この大学に進学するために

と云います。父は中学生の頃、スポーツに夢中でこれといった夢はなかったそうです。その頃から家で飼っている家畜の世話をしたり、お産などに立ち会ったりしているうちに将来は獣医になりたいという夢をもつようになったそうです。そして高校に入ってからはその夢を実現するために努力したが果たせず、公務員になる決心

いろいろなことに真剣にチャレンジして頑張っていくうちに、夢に向かっていく自分の姿が見えてくると信じています。あせらずに一步一步自分の夢を見つけて頑張っていきたいと思っています。

第15回 青少年の主張大会



優良賞

夢を求めて

今帰仁中二年

小那覇 和歌子

六人の級友が自分の夢について語りました。「教師」「保姆」「看護婦」「バスケットの選手」「父の跡継ぎ」など、さまざまな夢が出されました。そのときの私は、自分の能力を伸ばし社会に貢献できる教師か看護婦になりたいと考えていました。でも、両方とも絶対に実現したい、という望みある職業ではありませんでした。ですから、一年生になった今もまだ私の「夢」は決まらず、

だわかりません。そんな状態の時、ある全体朝会で三年生の先生方へのインタビューがありました。その中でスポーツ万能のある先生に「先生は足は速いけれど頭はいいのですか」と質問がありました。それに対して先生は「確かに成績は悪いけど、頭は悪くないんだよ」と答えられ、また「自分の好きになれることを見つけて、そのことに熱中して一生懸命頑張っ

その頃から必死にやり始めたのだそうです。「好きなことを熱中してやる」、私はなるほどと思い、自分の夢を探すきっかけを得たような気がしました。そこで私は父に自分の職業についてたずねてみました。私の父は現在、今帰仁村役場の総務課で広報係として村広報誌作りに情熱を傾けています。父は「今の自分の職業にとっても誇りをもってやるよ」

をしたそうです。父は私に、「中学の頃からきちんと将来の目標を定めて頑張らなさいよ」と言います。「自分のやりたいことを追求していく」とも語りました。そんな父の話聞いて今まで自分にはどんなやりたいことがあるんだろうと、改めて考えてみました。でも私には実際にやってみたくらいということがよくありません。私はス

特設人権相談所の開設についてお知らせ

- 1. 日時 平成9年10月8日(水) 午前10時～午後3時
- 2. 場所 今帰仁村コミュニティセンター
- 3. 相談担当者 地元人権擁護委員 諸喜田スエ子 島袋輝志雄、 那覇地方務局職員 総務係長 山崎 司

お年寄りを大切に

「敬老会」で余興楽しむ



▶人生は楽しくいつまでも

いつまでも長生きして下さい」と、村主催による恒例の敬老会が九月十二日、村コミューニティセンターに七十五歳以上のお年寄り五百人が参加して、長寿を祝うとともに長命にあやかった。

なお「敬老の日」を前に沖縄県長寿番付が発表され、嘉陽マツさん(一一一歳、特別養護老人ホーム乙羽園)が男女を通して沖縄県長寿一位に輝いた。さらに、今帰仁村の八月末現在の六十五歳以上の高齢人口は、二千二百二十三人で、これは総人口の二三%にあたり、そのうち百歳以上は八人、カジマヤー(白寿)、トーチカ(米寿)を迎えた方がそれぞれ十一人と三十七人いる。



全国長寿7位
沖縄県長寿1位

嘉陽 マツさん (111歳・呉我山出身)



私のおじいちゃんとおばあちゃん

兼次小六年 山内 香奈子

私の家は、季節ごとにいろんな果物が食べられます。その訳は、毎日果物を作ってくれるおじいちゃんがいるからです。おじいちゃんは、春にはミカンを積んで、夏にはマシゴをたくさんもつてきて、秋にはナシやリンゴをもたせてきたり、冬にはイチゴを買って私たち孫に、いつもおいしい果物を食べさせてくれます。

いちゃんとおばあちゃんをずっと大切にしていきたいです。戦争を体験しているおじいちゃんやおばあちゃんとは、少し食い違いがあつてけんかする時もありますが、大切なことやいろいろな話をたくさん教えてくれます。だから私たちが孫が、いつか大人になつておじいちゃん、おばあちゃんを支えてあげたいと考えています。

まず、主催者を代表して上間博安村長は「村が多岐の課題を抱えながらもめざましい発展を遂げたのは、皆さんが温かく見守り育んで下さったおかげです。これからの人生を楽しく有意義にお過ごし下さい」と、これまでの労をねぎらい敬意を表した。

また、兼次小六年の山内香奈子さんが元気な声で感謝の言葉を述べ、お年寄りを喜ばせた。その後与那嶺幸人村議会議長・大城秀昭県議会議員からそれぞれ祝辞が述べられた。

おばあちゃん、私たちが孫に入れ物やナップザックなど、いろんなためになることを教えてくれます。私はこんなに孫にやさしくしてくれるおじいちゃんや、おばあちゃんがとても好きです。

私がおじいちゃんやおばあちゃんに話を聞かせてくれるおばあちゃん。忘れ物や手伝ってほしいときには、手をかしてくるおじいちゃん。私はおじいちゃん。



イラスト

兼次小百周年記念推進同窓生ソフトボール大会

二十二期生(昭和二十九年生)劇的サヨナラで優勝

「和合協力」の精神でもって同窓生の全力を結集し、百周年記念事業を成功させようを合言葉に、兼次小百周年記念推進同窓生実行委員会(大城秀輝委員長)主催による同窓生ソフトボール大会が八月二十四日、兼次小・中学校の両グラウンドで同窓生、関係者多数が詰めかけて開催された。

大会終了後の交流会であり、さつに立った山内昌敬期生会々長は「この大会の趣旨に賛同いただき、同窓生が一堂に会し、百周年記念事業達成に向けて強い団結力を感じた。今後とも母校の後輩たちの環境整備のため、募金運動

三歳)と三十九期生(二十六歳)の対戦となったが、二十二期生は十七歳の年齢差を感じさせない気迫に満ちたプレーで、緊迫した延長戦を劇的サヨナラで制し、見事優勝した。

を強力に推進していきたい」と話し、地域への協力を呼びかけた。

また、七月二十三日に長崎



▲優秀な成績を収めた本今消防チーム

第34回国頭郡球格技大会

「剣道」優勝

男子バレーボール・ソフトテニス準優勝 サッカー3位



▶優勝の剣士たち記念撮影

九月七日、本村を主会場に名護市、宜野座村、伊江村で開催された第三十四回国頭郡球格技大会で本村は、みごと剣道が優勝、男子バレーボールとソフトテニスが準優勝を果した。

また先に村営競技場で行われたサッカーでも三位と健闘した。

なお、本大会で優秀な成績を取った種目については、十一月に行われる先島大会に出場することになっており、選手たちの活躍が期待される。

〔水上の部〕		
種目	順位	選手名
団体救援物資搬送	優勝	利勝一 彦美昭治
団体人命救助	優勝	名袋 康 峯安政 秀清 峯正一 治己 昭彦
団体溺者救助	優勝	満島 嘉久 渡崎 知念 田念 袋正 秀安
団体溺者搬送	優勝	仲知 島袋 浜正 秀安
個人基本泳法	2位	嘉陽 安彦

〔陸上の部〕		
種目	順位	選手名
団体ブリッジ救出	上位入賞	重博 健吉 則光 一夫 袋 峯 数 鳥 沢 湧 嘉

消防救助技術指導会

団体・個人七種目で救助技術を競う

消防隊員の救助技術を高めようと、沖縄県消防長会(松田進会長)主催の第二十一回沖縄県消防救助技術指導会の陸上の部が六月五日、県消防学校で、水上の部が六月十九日、奥武山プールでそれぞれ行われ県下十九消防本部から二五〇人余りが参加、救助技術を競った。

本部今帰仁消防(大城盛彦消防長)でも、陸上の部四人、水上の部八人を派遣し、水上の部で一位が四種目、二位が一種目、陸上の部は上位入賞を取った。

第四回沖縄県トラクター耕競技大会 プラウの部で稲嶺さん優勝



優勝した稲嶺さん

九月十一日、各地域の第一線で活躍している農業機械士の資質向上及び、農作業安全意識の高揚を目的に、第四回沖縄県トラクター耕競技大会が、玉城村(垣花土地改良区)で開催され、北部地区代表として出場した稲嶺盛正さん(湧川二〇五)がプラウの部でみごと優勝を飾った。大会にはプラウの部に七人ロータリーの部に七人がそれぞれエントリー、農業機械技術を競いあった。

啓蒙活動を積極的に実施

国民年金推進対策協議会

国民生活の安定が損われることを国民の共同連帯によって防止し、健全な国民生活の維持向上を目的に、八月五日平成九年度村国民年金推進対策協議会が、各字推進員多数出席のもと、村コミュニティセンターで開催された。協議会では、照屋昇他六十四人の委員に上間博安村長から委嘱状が交付され、その後



▲年金の普及、啓蒙指導について話し合う

文化祭作品出品のお知らせ

村民に作品発表の機会と鑑賞の場を提供するとともに、村における芸術文化の振興発展とむら興しに寄与することを目的に、第15回今帰仁村文化祭を平成9年11月1日(土)・2日(日)の両日、村中央公民館及びコミュニティセンターで行います。つきましては、下記の日程で、作品搬入受付を致しますので村民の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

記

- 1. 作品搬入受付
開始日 平成9年10月13日(月)～
締切日 平成9年10月24日(金)
- 2. 作品搬入場所 今帰仁村中央公民館

仲宗根から上運天に至る水田地帯

一九六〇年から六二年にかけてジョージ・H・カー氏が「琉球列島遺跡調査」を行なった際レイモンド佐藤氏によって撮影された写真が「沖縄・奄美の風物」として「沖縄出土の中国陶磁」(沖縄県立博物館発行)に収められている。前回に引き続き紹介するのはその中の一枚、今帰仁村の仲宗根から上運天にかけての道すがらにある水田地帯の風景である。

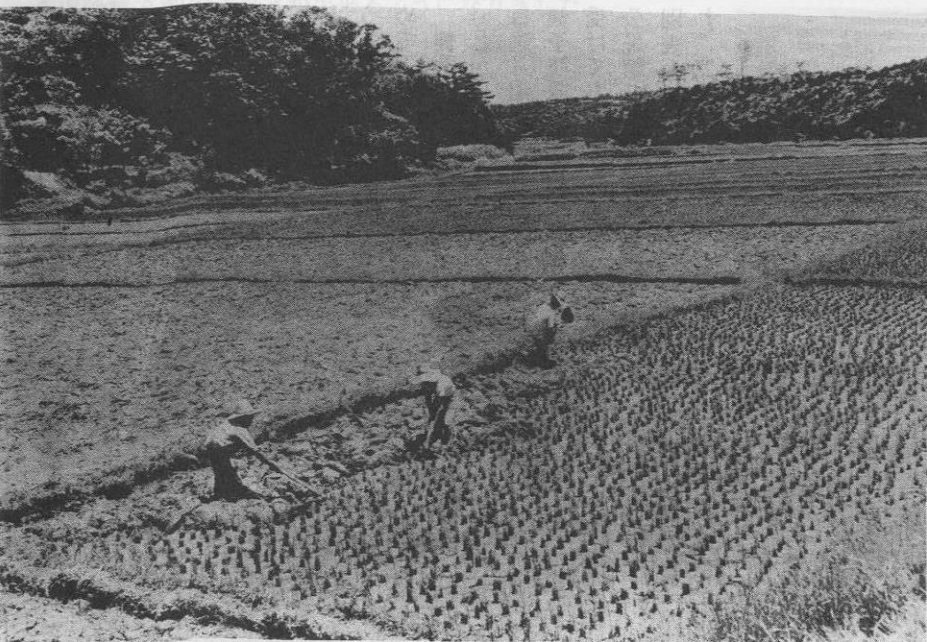
写真の水田の場所は天底の中福原、勢理客の吉事原、そして渡喜仁の金原にかけてである。左から伸びる森は渡喜仁の金原。その先端にはかつて魚雷艇を格納した壕のあるハキジヌメー。手前は天底の中福原。そして右手奥の水田地帯は勢理客の吉事原である。その後方の森は勢理客の石垣原のチントウヤマイである。付近は勢理客の他、渡喜仁・天底・上運天・運天の人たちが水田を持ち耕している。

一帯の水田の水源は吉事(ユチュトウ)の湧泉で、この湧泉は勢理客の吉事原・立増原、天底の中福原、仲宗根の田原一帯の水田を豊富な水量で潤していた。

「球陽」によると一七三〇(尚敬十八)年勢理客村の諸喜田(地頭代)と湧川(夫地頭)などが吉事(与志古土川)から水路を開き、仲宗根の真喜屋原の水田に水を引いた。「今帰仁郡(間切)の仲宗根村の真喜屋原に田がある。その田は米を五百石を産出するが、早魃にあう毎に水の注ぐ泉がない。そのために田地は乾涸し五穀が実らず、村人はそのことをとても心配した。勢理客村の地頭代諸喜田と夫地頭の湧川等が相共に相談し、水路を八百歩余り切り開き、与志古土(吉事)の川の水を引いて、真喜屋の田に注ぎ入れた。その後、田は常に水が満ち、溶溶漫漫とし、早魃は心配することなく、稲が豊かに実った」(大意)と

記してある。以上の記述から天底の中福原や勢理客の吉事原、渡喜仁

の金原、仲宗根の上真喜屋原・下真喜屋原、そして水口原一帯は近世期から水田が開けていたことが伺える。現在も吉事を水源とした川が吉事原・中福原・金原・水口原・下真喜屋原を通り大井川へ注ぎ込んでいる。昭和十二年頃土地改良が行



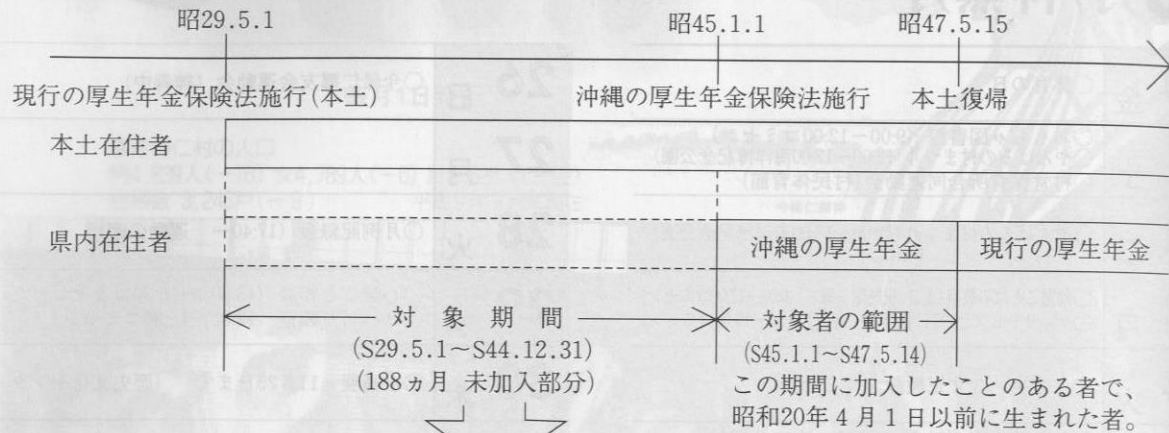
▲仲宗根から上運天に至る水田地帯 (1960～62年)

なわれ、水田の水はけがよくなり、稲の出来が一段とよくなったという。戦後も二回程土地改良が行なわれている。昭和三十年代後半までは水田が広がっていたが、今ではサトウキビを中心とした畑地の風景へと変わってしまった。写真の場面にある「田起こし」作業は牛や馬に鋤(ユジエー)を引かすこともあるが、ここでは三人の男性が麦わら帽子をかぶりターウチグエー(スコップグエー)を手炎天下で作業を行なっている。「田起こし」は、きつい労働である。勢理客の吉事原には、かつてユピタ(深田)と呼ばれる湿地があり、胸元まで泥に浸かるため、家畜を使つての田起こしはできなかった。田起こしの後、収穫まで「苗代」田植え→除草→稲刈り→脱穀→精米」と農作業が続く。整然と区切られた水田、そこに正条植えされた稲が成長し、黄金色に輝く稲穂が風にたぐく風景は農家の方々にとって、手に豆をつくり、泥水をかぶり、汗水流した苦勞の賜物である。仲原 弘 哲 (歴史文化センター)

沖縄の厚生年金特例措置加入手続き実施中

1. 厚生年金特例措置とは

保険料を納めると、受け取る年金額が増えます。



沖縄県内の適用事業所に勤めていた対象者は、昭和29年5月1日～昭和44年12月31日の間は、厚生年金に加入していません。その為に本土との年金の格差が生じていました。今回、特例措置により、対象期間内において、沖縄県内で雇用されていたが厚生年金に加入出来なかった期間の保険料追納の手続きが出来るようになりました。

2. 手続きの方法

保険料の算定にあたって、対象者がその対象期間（昭和29年5月1日～昭和44年12月1日迄）について沖縄県内で雇用経歴があったことを証明しなければなりません。

- ① 手続きに必要な書類を「厚生年金問題対策室」に提出
 証拠資料（証拠資料は、当時を証明するもの。辞令・社員名簿・表彰状・源泉徴収表等）
 年金手帳
 雇用経歴書
 （※申請書類は対策室・各分室に置いてあります。）
 （※雇用経歴書は県の定める様式に基づきます。）
- ② 沖縄県「厚生年金問題対策室」で認定
- ③ 雇用経歴認定書を対象者のご自宅へ送付
- ④ 雇用経歴認定書を持って、「社会保険事務所」で保険料算定・納付書発行、納付

保険料納付に際し厚生年金ローンが利用できます。

以上、詳しい手続等についてのお問い合わせは
 沖縄県生活福祉部厚生年金問題対策室 TEL 098-868-4300 FAX 098-868-2489

村社会福祉協議会へ
 ○ 奥那登安さん(天底二九八)より母、ウトさんの香典返しとして十万円
 ○ 砂辺順子さん(那覇市三原二一四一四)より、寸志として一万円
 ○ 八色マサ子さん(鹿児島県南種子町長谷野)より、寸志として十万円
 ○ 石川清和さん(渡喜仁二六)より、窓口募金として一万八千九百五十九円
 ○ 玉城明さん(大阪府吹田市芳野町一五三三)より、資金づくりに役立てて下さいと、オモチャ類他
 ※ご芳志ありがとうございます。

「寄付」

第13回 やんばるの産業まつり

平成9年10月17日(金)～19日(日)

◆名護市民会館◆

特産品・民芸品
 緑化木・花き
 果樹・観葉
 アトラクション…

保健婦だより 住民健診を生かして 守ろう あなたの健康

去った八月二十五日から九月十四日まで村内十九カ字において住民健診が行われましたが、皆さんは受診されましたか。もう結果の届いた方もいらっしゃると思います。健診は、成人病をはじめ身体の異常を発見する他、受診者が自分の健康状態を知るところを目的に毎年実施されています。ただし、健診で行われる検査はスクリーニング検査といって、身体の中に病気の兆候があるか否か、あればそれがどの程度進んでいるかなど、大まかに判断するふり分け検査です。ですから健診結果だけでは、はっきりした病名を判断することができません。

そのため、異常がみられる場合は精密検査が必要となります。そこで、健診結果がきちんと生かされるよう検査結果に使われる用語を説明します。その意味を正しく理解し、指示に従って下さい。

1 「要医療」

これは文字通り、健診の結果、病気(疑い含む)が見つかりましたので、早急に治療が必要という判定です。一人で心配せず、一日も早く診察、治療を受けるとともに、食事や運動など日常生活の過ごし方についても、指導を受けて下さい。現在治療中の人は、主治医の指示に従って下さい。

2 「要指導」

放っておくと発病します。という警戒信号です。今直ちに治療を受ける必要はありませんが、結果に応じた日常生活での注意事項について指導を受ける必要があります。という判定です。成人病は、習慣病でもあることから、適切な生活管理によって成人病の予防、進展防止に努めて下さい。

3 「要観察」

軽度の異常所見は認められるが、通常の生活を続けても特に問題はない。あるいは、これからあなた自身の健康に

十分注意して経過を見ましようという意味です。健診を定期的に受けて健康のチェックをきちんと行いましょう。

4 「異状なし」

今回の検査の範囲内では異常所見は認められなかったという判定です。毎年「異状なし」という判定が得られるよう、積極的な健康づくりを努めて下さい。

健診結果がよく理解できないとか、疑問がありましたら、毎週月曜日の午前中、役場保健予防課の保健婦室で相談を受けております。また、各字公民館で健診後の健康相談も別表のとおり予定してあります。ご利用下さい。



自分の健康は自分でチェック

婦人がん検診のお知らせ(もれ者)

子宮がん・乳がんを予防し、早期に発見して大事にいたらないようにするには、検診を受けるのが一番です。定期的に検診を受け、早期発見に努めましょう。去った7月の検診に引き続き、もれ者検診を下記のとおり実施することになりましたので、今回、是非受診されますようお知らせします。尚、職場検診や医療機関で検診を受けている方はお手数ですが、ご連絡下さい。

期日	平成9年10月17日(金)	10月24日(金)
受付	12時30分～14時まで	
場所	村コミュニティセンター	

費用	※ 子宮がん検診料
	30才未満 2,800円 30才以上 600円
※ 乳がん検診料	30才未満 1,700円 30才以上 300円
	料金

平成9年度健康相談日程表

午前 (9:30~11:30)		午後 (1:30~3:30)	
10月21日(火)午前	今泊	11月6日(木)午前	運天
22日(水)午前	兼次	7日(金)午前	上運天
23日(木)午前	諸志	11日(火)午後	湧川
	午後 与那嶺	12日(水)午前	呉我山
27日(月)午後	平敷	13日(木)午後	天底
28日(火)午前	崎山	14日(金)午後	玉城
29日(水)午前	越地	18日(火)午前	仲宗根
30日(木)午後	仲尾次	20日(木)午後	勢理客
11月4日(火)午後	謝名	21日(金)午後	古宇利
5日(水)午前	渡喜仁		

村民カレンダー



10月/神無月

1997年

10 金	○体育の日
11 土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00コミセン) ○やんばるの村まつり (12:00~17:00海洋博記念公園) ○村営保育所合同運動会 (村民体育館)
12 日	○やんばるの村まつり (12:00~17:00海洋博記念公園)
13 月	○幼児ことばの教室 (土日、祝祭除く毎日) (9:00~17:00コミセン) ○ディサービス (土日、祝祭除く毎日) (9:00~17:00コミセン)
14 火	○1才半、3才児健診 (コミセン)
15 水	○おし花講座 (20:00~22:00 中央公民館) ○心配ごと相談 (13:30~16:30コミセン) ○リハビリ教室 (13:30~15:30コミセン)
16 木	○牛セリ (セリ市場) ○ディケア「ふれあいやんばるの集い」運動会 (21世紀の森運動公園)
17 金	○やんばるの産業まつり (14:00~21:00名護市民会館)
18 土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00コミセン) ○やんばるの産業まつり (10:00~21:00名護市民会館)
19 日	○やんばるの産業まつり (10:00~21:00名護市民会館) ○郡陸上競技大会 (本部町菅グラウンド)
20 月	○区長会 (14:00~ 2階会議室)
21 火	
22 水	○心配ごと相談 (13:30 ~16:30コミセン) ○リハビリ教室 (13:30~15:30コミセン)
23 木	
24 金	○平和祈願祭 (14:00~ 村慰霊塔)
25 土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00コミセン)

26 日	○今帰仁郷友会運動会 (神森中)
27 月	
28 火	○月例記録会 (17:40~ 運動公園)
29 水	○心配ごと相談 (13:30 ~16:30コミセン) ○リハビリ教室 (13:30~15:30コミセン)
30 木	○企画展 11月25日まで (歴史文化センター)
31 金	

11月

1 土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00コミセン) ○村文化祭 (14:00~17:00中央公民館、コミセン)
2 日	○村文化祭 (9:00~17:30中央公民館、コミセン)
3 月	○文化の日
4 火	
5 水	○心配ごと相談 (13:30 ~16:30コミセン) ○リハビリ教室 (13:30~15:30コミセン) ○区長会 (14:00~ 2階会議室)
6 木	○歯科相談 (コミセン)
7 金	○ポリオ予防接種 (コミセン)
8 土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00コミセン) ○スーパードッジ大会 (ホッケー場)
9 日	○老人婦人スポーツ大会 (村営グラウンド)

長寿の秘訣は、質素で規則正しい生活であるとよく言われるが、現代は飽食の時代で、食生活には何の不自由も感じない。ほんとうにいい時代に生まれたなあ、と思う反面、生活の豊かさに伴い様々な生活習慣病が現代人を蝕んでいる。これまで私たちの先輩方が築いてきた「長寿村今帰仁」を維持継続していく上でも、きちんと健康診断を受け、自分と家族の健康を守ってほしいものである。

九月十五日の敬老の日には、県内各地でお年寄りの労をねぎらう催しが行われたことでしょうか。

